



第33回 JIS 製品認証業務運営委員会（9月9日）

はじめに、議題1「副委員長長の選出について」を事務局より上程し、副委員長に水道バルブ工業会の柴原専務理事が選出された。

次に、議題2「第32回 JIS 製品認証業務運営委員会議事録について」を事務局より説明し、了承された。

次に、議題3「指定感染症や自然災害等により認証審査の実施が困難となった場合の対応について」を上程し、慎重審議の結果、了承された。

その後、議題4「その他」について、事務局より次回委員会の開催予定を説明した。

第103回検査事業委員会（9月9日）

議題1「指定感染症や自然災害等により日本水道協会検査事業の実施が困難になった場合の臨時対応に関する取扱い要領」の制定について、議題2「臨時対応の具体的な方法について」、議題3「指定感染症や自然災害等により日本水道協会検査事業の実施が困難になった場合の臨時対応に関する取扱い要領」の制定に伴う検査関係規定等の一部改正について」を事務局より説明し、審議の結果、了承された。



その後、議題4「その他」について、事務局より次回委員会の開催予定を説明した。

配管設計講習会（関東会場第1回：9月9日～11日、東北会場：9月15日～17日）

水道事業体及び民間企業等において配管設計の経験が少ない水道技術者の方々84名（関東会場第1回40名、東北会場44名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

第744回抄録委員会（9月10日）

本誌11月号・12月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

第988回会誌編集委員会（9月16日）

本誌10月号・11月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

水道基礎講座（大阪会場第2回：9月16日～18日）

水道業務に従事する新規採用職員（事務系・技術系）の方々29名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道システム概論」について研修を実施した。

水道事業事務研修会（経営初級コース）（9月16日～18日）

水道業務に従事する事務系職員（水道歴概ね3年未満）の方々25名の参加を得て、「水道概論」、「水道経営」、「水道事業における会計実務の基礎」、「会計実務～例題・演習～」、「水道事業における消費税及び地方消費税の会計処理」、「経営分析」について、経営の実務を中心とした研修会を実施した。

漏水防止講座（大阪会場：9月23日～24日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々17名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターにおいて、「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事故事例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について研修を実施した。なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、漏水防止関連機器を使用した実地研修は中止とした。

未納料金対策実務研修会（大阪会場：9月25日）

水道料金徴収業務に携わるの方々29名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。また、受講生から事前に未納料金対策等に関する質問を募集し、それに対する解説を実施した。

なお、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、グループディスカッションは中止とした。

第4回水道施設管理業務評価マニュアル案改訂専門委員会（9月25日）

標記委員会については、新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、参会とWebを併用して開催し、CEI標準例の執筆内容の確認、素案の確認及び評価事例分担案について審議を行った。

次回委員会では、評価事例の確認等について審議を行う予定である。

第42回認証審査委員会（9月30日）

はじめに、審議事項1「委員長及び副委員長の互選」が上程され、委員長には信州大学の浅野委員、副委員長には東京都水道局の谷本委員を選任した。

続いて、審議事項2「指定感染症や自然災害等により工場調査等が困難になった場合の対応について」が上程され、原案のとおり承認された。

また、報告事項として、「2019年度試買検査の結果」及び「認証登録の一時停止」について事務局より報告を行った。

